

社会学演習Ⅲ

科目ナンバリング SEM-401

必修 2単位

山口 毅

1. 授業の概要(ねらい)

この授業は、問題やトラブルを抱えた人々が困難を克服していくプロセスをテーマとします。犯罪・非行、虐待などの被害経験、アディクション(嗜癖)、病気、死別といった、様々な出来事や経験に伴う問題に、人々はどう対処していくのでしょうか。その過程では人とのつながり、心の安定、生活の再建といった、誰にとっても重要な要素が大きく関わっています。この授業は「困難の克服」を対象にして、人々の生の多様な軌跡について認識を深めるとともに、自己・相互行為・集団に関する社会学的な見方を養うことを目的としています。授業の進め方としては、文献の講読と参加者の発表・討議を予定しています。

2. 授業の到達目標

日々の生活を社会学的な観点から分析する態度の獲得。

3. 成績評価の方法および基準

授業への参加態様(50%)、報告内容(30%)、議論への参加(20%)を総合して判断します。

4. 教科書・参考文献

教科書

有田亘・松井広志 いろいろあるコミュニケーションの社会学 北樹出版

5. 準備学修の内容

授業内で紹介する文献をあらかじめ読み、意味のわからない用語を調べ、自分の意見を考えておくこと。

6. その他履修上の注意事項

授業への積極的な参加を重視します。

7. 授業内容

- | | |
|--------|----------------------|
| 【第1回】 | イントロダクション:文献の紹介と割り当て |
| 【第2回】 | 報告とディスカッション(1) |
| 【第3回】 | 報告とディスカッション(2) |
| 【第4回】 | 報告とディスカッション(3) |
| 【第5回】 | 報告とディスカッション(4) |
| 【第6回】 | 報告とディスカッション(5) |
| 【第7回】 | 報告とディスカッション(6) |
| 【第8回】 | 報告とディスカッション(7) |
| 【第9回】 | 報告とディスカッション(8) |
| 【第10回】 | 報告とディスカッション(9) |
| 【第11回】 | 報告とディスカッション(10) |
| 【第12回】 | 報告とディスカッション(11) |
| 【第13回】 | 報告とディスカッション(12) |
| 【第14回】 | 報告とディスカッション(13) |
| 【第15回】 | 報告とディスカッション(14) |